

○ 有松まちづくりの会 役員会 (3月28日)

①「有松まちづくりの会 総会」開催日決まる

開催日時は5月11日(水)、13:30～ 絞会館と決まりました。

②第32回 有松絞りまつりでの有松PR

6月4日(土)・5日(日)開催の絞りまつりで、重伝建制度を重点に有松のPRを行うことが決まりました。場所は、山中歯科の駐車場に設けられる有松桶狭間観光振興協議会ブースです。

内容は重伝建推進委員会と事業部および広報部で検討します。

○ 重伝建推進委員会 (3月28日)

①「重伝建選定祝賀行事」の検討始まる

重伝建選定が夏までには決まることを想定し、祝賀行事の開催日を山車まつりの日の10月2日を中心に置き、準備を進めることになりました。

祝賀行事の内容は、重伝建選定祝賀実行委員会を立ち上げ、検討していくことが決まりました。

○ 有松桶狭間観光振興協議会 (3月22日)

①高根山広場に安全柵を設置 (緑区役所)

昨年3月、高根山山頂の周辺樹木の伐採を行い、鳴海の善照寺砦公園方面が見えるようになりましたが、その折、安全柵が朽ちており、転落の恐れがありました。緑区役所に安全柵の整備をお願いしたところ、積極的に動かれ、この度の簡易安全柵設置となりました。

これで観光客は転落を気にせず、手すりに手をかけ、鳴海・名古屋駅方面を見ることが出来るようになりました。



高根山に新設の安全柵

②緑区観光ルートバス検討会の進捗状況

最終回となる「第6回 ルートバス運行にかかる勉強会」が3月14日緑区役所で開かれ、交通局に提案する要望書原案の検討が行われました。出され意見を元に修正し、4月末～5月に開かれる「緑区観光推進協議会」総会で、報告・承認の上、交通局に提出されることになりました。

○ 豊明市の観光シンポジウムに桶狭間古戦場保存会会長出席 (3月19日)

豊明市主催の観光まちづくりシンポジウムが開かれ、桶狭間古戦場保存会会長梶野泉氏が招かれて出席し、「両古戦場を中心に、大高や鳴海も含め、桶狭間を全国に発信しよう」と呼びかけました。

コーディネーターの和歌山大大澤教授の基調講演で『緑区と豊明の両古戦場が手を結び、ここに同席することは歴史的快挙である』との最初の発言で、シンポジウムはなごやかに進められました。

○ 緑消防署有松出張所に救急隊配置（4月1日）

地元からの強い要望と緑消防署から有松への駆けつけに所要時間がかかることから、今年度初日の4月1日に救急隊が配置されました。これで絞会館への駆けつけ時間は、従来の10分程度から1～2分程度に大幅に短縮され、住民への救命活動も大幅に改善されます。

配置されたのは、救急車1台と隊員8名です。この体制で24時間常時出動できる態勢をとっています。

緑消防署管内には、本署と大高・有松・鳴海・徳重の出張所があり、これで救急隊不在は鳴海のみとなりました。

なお、消防署は、本当に緊急必要時のみに119番の出動要請をして頂きたいと話していました。



有松出張所に配車された救急車

○ 絞開祖並びに物故功労者慰霊祭（3月5日）

慰霊祭は、3月の開祖命日11日直前の土曜日の5日に、神事は絞会館で、仏事は祇園寺で行われました。

絞会館での神事は、大島伸介神職（南区山神社）のもと執り行われました。その後、絞会館駐車場の奥にある竹田庄九郎碑の前でお祓いを受け、祇園寺に移り仏前での仏事が行なわれました。

仏事では、矢野住職が「本尊上供」でお釈迦様に、今日出席者の家門繁栄・子孫長久・災障消除・諸縁吉祥をお願いし、「施食会回向」で、絞開祖並びに物故功労者および新亡精霊に施食し、正しい認識のもと、煩惱から解脱し、穏やかな心になっていただきたいとお祈り申し上げました。



祇園寺での法要

○ 有松天満社 春季大祭（3月20日）

天満社春季大祭は晴天に恵まれ、大勢の参拝者が訪れ、入試合格お礼や学業向上・家内安全などをお祈りし、お帰りになりました。

今年の天満社は、奉納された伏牛などの解説看板や階段の手すりの新設および男子トイレに絞りの目隠しが取り付けられました。また、厄年会による振る舞い酒や、福年会による子ども餅つき大会が行われ、地元の氏神様として親しまれる神社を目指していることがうかがえました。



子ども餅つき大会

○ 有松天満社の清掃奉仕活動 始まる

有松天満社文嶺講は、毎月第2日曜日を「天満社の清掃日」と定め、総代長をはじめ、役員・総代そして福年会の皆様で行う清掃奉仕活動を昨年末から実施しています。

3月は春季大祭を翌週に控えた13日に、大祭の準備も兼ねて大勢の人で行われました。

○ 有松人道橋銘板コンクール表彰式（3月9日）

名古屋市としては初めてのコンクールによる橋銘板が、1号線上に架けられた有松小学校と現中学校を結ぶ「有松人道橋」に取り付けられました。

コンクールは、緑土木事務所が有松小学校全児童に銘板デザインを募集し、125点の応募があり、選考の結果、6年生の柳生ひかるさん、3年生の大森千夏さんが最優秀賞に選ばれました。このデザインで「有松人道橋」の銘板が造られ、橋に取り付けられました。デザインには、文字ばかりでなく、絞り柄やなまこ壁も描かれ、有松らしさが表現されています。

なお、有松人道橋は、昭和17年（1942年）国道1号線を開通させる時に作られました。当時、有松小学校の上の運動場は、現在の中学校敷地にあり、その間を掘り割りにし、1号線を通すことになりました。、その行き来に橋が当然必要となり造られたものです。その造り方は、『土を取り除く前に、土の上に橋を作り、その後土を取り除き、1号線を通した』と近所の古老は話をしていました。



柳生 ひかるさん



大森 千夏さん

○ 名鉄電車「鎌研踏切」歩道完成（3月下旬）

有松学区と平子学区が共同で取り組んだ署名活動などの結果、河村市長に出された要望「鎌研（有松4号）踏切に歩道設置」に対し、名古屋市・名鉄・中電の協力のもと、踏切西側のみですが歩道が設置されました。

以前は踏切の遮断機が開くと、狭い踏切を自動車・自転車・歩行者が一斉に渡り始め、大変危険な状況でしたが、歩道設置により歩行者は安全に渡ることが出来るようになりました。



歩道が設置された鎌研踏切

○ 高齢者への配食サービス（3月23日）

このサービスは、有松学区福祉推進協議会が平成18年から毎月第2・4水曜日に、ひとり暮らしの高齢者、またはご夫婦共後期高齢者のみの世帯を対象に実施されています。

配食は、対象者69名にボランティアの皆さん18名のご協力で行われており、直接高齢者に手渡し、ご本人の健康状態やその他の情報など把握し、見守り支援を行っています。

ボランティアの皆さんは、高齢者が住みなれた有松で、安心してこれからも暮らしていただければとの思いで、配食サービスを続けています。



高齢者へお弁当を手渡し

○ 名鉄有松駅⇄左京山駅間ロングレール化完工 (3月下旬)

有松駅から左京山駅までの977mが一本のレールでつながりました。製鉄所出荷のレールの長さは25mですが、溶接でつなぎ、この長さのレールにしました。ただし、両端と中間1ヶ所に伸縮継目が設けてあります。

これにより、電車の走るガッタン・ゴットンのリズム音が消え、趣きが無くなりましたが、沿道住民には走行騒音と振動が大幅に減り、住環境がよくなりました。また、線路・車両のメンテナンス費用が大幅削減されるそうです。



ロングレールの伸縮継目

○ 緑区ボランティアガイド 有松で研修 (3月25日)

緑区ルネッサンスフォーラム主催のガイド研修会が、これまでに鳴海・大高・桶狭間と順次行われ、最後に有松で行われました。この研修会は、その地のガイドが他の地区のガイドを案内し、ガイドする立場とガイドされる立場に立ち、研鑽を積む方式で行われました。

有松では、有松あないびとの会の2名が東海道沿いの町並みを、1時間半ほどかけ案内しました。

案内後の意見交換会では、おもてなしの心の大切さや自学自習の重要性などの意見が出て、同じガイドとして有意義な研修でした。

なお、出席者から区役所の担当者に、来年も研修会を実施してほしいと意見が出されました。



○ 催事・行事の予定

- ・4月01日(金) 11:00 有松救急隊発隊式 緑消防署有松出張所
- ・4月02日(土) 10:00 第8回 地蔵池・大池桜まつり 有桶観光振 3学区区政協力委員会
(「紙芝居」「桜まつり史跡巡りツアー」あり、詳細はHP「有松のまち」参照)
- ・4月03日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・4月06日(水) 13:00 「留学生と有松で再発見」 ①「古い町並みと着物」 ゲストハウスMADO
- ・4月10日(日) 09:00 有松天満社清掃 社殿前集合 文嶺講
" 13:00 桶狭間古戦場保存会総会 桶狭間公民館
- ・4月17日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・4月18日(月) 18:00 第1回有松町並み相談会(発足会) コミセン
- ・4月21日(木) 07:30 まちなみ研修会「美濃赤坂・近江八幡を訪ねて」 絞会館バス駐車場
- ・4月21~24日 10:00 「捕虜のいた町」写真・資料展示会 棚橋邸 捕虜のいた町実行委員会
- ・4月23日(土) 午前 「ミス絞り」発表 絞会館 第32回有松絞りまつり実行委員会
- ・4月24日(日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
" 11:00 朗読劇「捕虜のいた町」 絞会館 捕虜のいた町実行委員会
" 15:00 朗読劇「捕虜のいた町」 絞会館 捕虜のいた町実行委員会

発行者：竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 副会長)

編集者：加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索